

水稻直播栽培特報(第3号)
～カルパー&鉄コーティング～

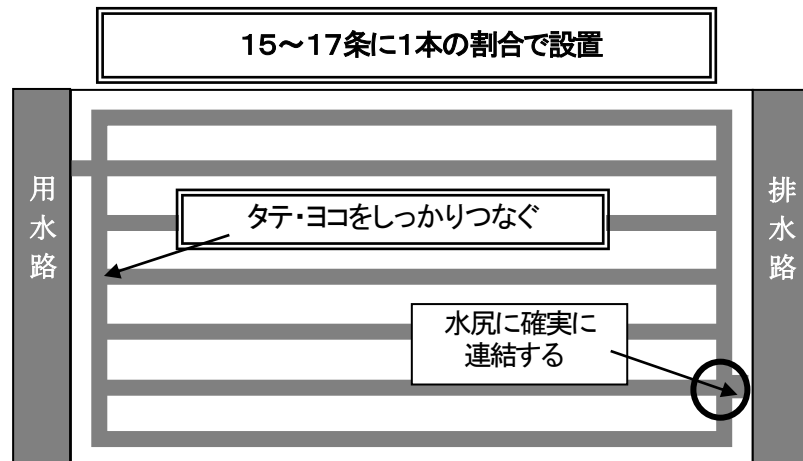
平成30年6月
富山農林振興センター
なのはな農業協同組合

本年は播種後の日射量が少なく、降雨日が多いため、出芽・苗立ちが平年より遅くなっています。浅水管理により、軟弱徒長を防ぎ、分けつの発生を促しましょう。

今後は、急激に分けつが増加するため、**早急に『溝掘り』を行う**とともに、**『中干し』は遅れずに実施**し、稲体および根の健全化を図りましょう。

1 溝掘り・中干し

- 『中干し』に入る前に、5m(15～17条)に1本を目安に必ず『溝掘り』を行いましょ。なお、播種と同時に溝掘りを行っている場合でも、再度『溝掘り』を行いましょ。
- 『中干し』は、1m間の茎数が100本程度になったら遅れずに開始しましょ。なお、極端に強い『中干し』は、穂数不足になりやすいので、避けましょ。
- 中干し後から幼穂形成期までは、湛水と落水を繰り返す**間断かん水**を行いましょ。



鉄コーティング直播では、根の露出が多いと倒伏の原因となります。**強めの中干しで根の土中への貫入**を促しましょ。

2 病虫害防除

- いもち病対策：予防粒剤は、**6月中旬頃までに散布**しましょ。

薬剤名	10a 当たり使用量	使用上の注意
オリゼメート1キロ粒剤	1kg	散布後4～5日程度は「湛水状態」を保ち、7日間は落水や掛け流しをしない。

- 害虫対策：斑点米の原因となるカメムシ類の繁殖を抑えるため、畦畔や雑草地の草刈りを徹底しましょ。

3 雑草防除

- 藻や表層はく離が発生しているほ場では、**水の入換え**を行いましょ。
- 雑草が残っているほ場では、雑草の種類に応じて、後期剤を適期に散布しましょ。

雑草種類	使用除草剤	10a 当たり使用量	使用時期	使用回数	使用上の注意
ノビエのみ	クリンチャー1キロ粒剤	1.5kg	播種後25日～ノビエ4葉期まで(収穫30日前まで)	2回以内	湛水状態で散布し、散布後5日間は湛水を保つ。
ノビエと広葉	アクシズMX1キロ粒剤	1kg	イネ2葉期～ノビエ4葉期まで(収穫45日前まで)	1回	湛水状態で散布し、散布後5日間は湛水を保つ。
	サンパンチ1キロ粒剤	1kg	イネ3葉期～ノビエ3葉期まで(収穫60日前まで)	1回	湛水状態で散布し、散布後5日間は湛水を保つ。
	ワイドアタックD1キロ粒剤	1kg	イネ4葉期～ノビエ5葉期まで(収穫60日前まで)	1回	湛水状態で散布し、散布後5日間は湛水を保つ。
	アトカラSジャンボMX	500g(小包装20個分)	イネ4葉期～ノビエ3.0葉期まで(収穫45日前まで)	1回	5cm以上の深水状態で散布し、散布後5日間は湛水を保つ。藻類や表層はく離が多発しているほ場では、使用を避ける。
	クリンチャーバスME液剤	1000ml(希釈水量70～100l)	播種後10日～ノビエ5葉期まで(収穫50日前まで)	2回以内	落水状態で雑草茎葉部に薬剤が付着するように散布する。また、3～4日間は入水、落水しない。
広葉雑草のみ	バサグラン粒剤	3kg	イネ3葉期～入水50日後まで(収穫60日前まで)	1回	雑草が露出する程度の浅水状態で、晴天日を選んで散布し、散布後3～4日間は入水・落水しない。
	バサグラン液剤	500～700ml(希釈水量70～100l)	播種後35～50日(収穫50日前まで)	2回以内	落水して雑草が露出する状態で、晴天日を選んで散布し、散布後3～4日間は入水・落水しない。

※「直播水稻」で登録のある除草剤を使い、決められた使用回数や散布量を守る等、使用基準を遵守しましょ。

※ 除草剤散布後7日間は止め水管理(田面水が用水路に流れ出ないよう管理)し、河川等の環境を守りましょ。